

文 教 科 学 委 員 会

委員一覧 (21名)

委員長	堂故	茂 (自民)	赤松	健 (自民)	水野	素子 (立憲)
理事	石井	正弘 (自民)	上野	通子 (自民)	下野	六太 (公明)
理事	進藤	金日子 (自民)	白井	正一 (自民)	平木	大作 (公明)
理事	本田	顕子 (自民)	末松	信介 (自民)	金子	道仁 (維新)
理事	宮口	治子 (立憲)	橋本	聖子 (自民)	中条	きよし (維新)
理事	伊藤	孝恵 (民主)	斎藤	嘉隆 (立憲)	吉良	よし子 (共産)
	赤池	誠章 (自民)	水岡	俊一 (立憲)	船後	靖彦 (れ新)
						(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第216回国会において、本委員会に付託された法律案はなかった。
また、本委員会付託の請願7種類65件は、いずれも保留とした。

〔国政調査〕

12月19日、我が国における研究力の低下の原因と強化に向けた取組、技術士のIPD（初期専門能力開発）システムの構築に係る文部科学省の見解及び支援の現状・方向性、科学研究費助成事業の予算を増額する必要性、平和教育の重要性に対する文部科学大臣の思い、学校におけるてんかん発作時の対応に係るガイドラインやチェックシートを文部科学省が作成する必要性、教職員の精神疾患による病気休職者数の現状と改善策、高校無償化等に係る所得制限が保護者の働く意欲を削ぐとの指摘に対する文部科学大臣の見解、給特法改正に向けて文部科学省が概算要求で示した教職調整額の水準の妥当性、明治神宮外苑の再開発に係る問題に対する文部科学大臣の認識、在外教育施設におけるハラスメントに対する文部科学省における相談・調査体制の整備の必要性等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和6年12月10日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査を行うことを決定した。

○令和6年12月19日(木) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 我が国の研究力の強化に関する件、技術者育成への支援に関する件、科学研究費助成事業の予算増額に関する件、平和教育の充実に関する件、養護教諭等の業務対応に関する件、教職員の精神疾患による病気休職に関する件、高校無償化等に係る所得制限に関する件、教職調整額の見直しに関する件、明治神宮外苑の再開発に関する件、在外教育施設におけるハラスメント対策に関する件等に

ついてあべ文部科学大臣、武部文部科学副大臣、土田財務大臣政務官、政府参考人及び参考人独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長芦立訓君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

本田顕子君（自民）、進藤金日子君（自民）、水野素子君（立憲）、宮口治子君（立憲）、水岡俊一君（立憲）、下野六太君（公明）、中条きよし君（維新）、伊藤孝恵君（民主）、吉良よし子君（共産）、舩後靖彦君（れ新）

○令和6年12月24日（火）（第3回）

- 請願第1号外64件を審査した。
- 教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。